学校番号	414

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅱ （その２）	単位数	４単位のうち２単位	年次	２年次
使用教科書	新編数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	新課程　３ＴＲＩＡＬ 数学Ⅱ （数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。

・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

(1) いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせようとする。
(2) 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする態度を育て、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第４章三角関数	第1節　三角関数 １　角の拡張 ２　三角関数 ３　三角関数のグラフ ４　三角関数の性質 ５　三角関数を含む方程式，不等式	a：弧度法で表された角の三角関数の値を，三角関数の定義によって求めることができる。 b：単位円上の点の動きから，三角関数のグラフを考えることができる。 c：単位円や三角関数のグラフを利用して，三角関数の性質を調べようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第2節　加法定理 １　加法定理 ２　加法定理の応用	a：加法定理を利用して，種々の三角関数の値を求めることができる。 b：x の関数$y = a\sin x + b\cos x$の式を適切に変形することで，関数の最大値・最小値を求めることができる。 c：同じ周期をもつ２つの関数$y = \sin x$ と $y = \cos x$ を合成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
２学期	第５章指数関数と対数関数章	第1節　指数関数 １　指数の拡張 ２　指数関数	a：指数が整数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を利用した計算をすることができる。 b：指数法則が成り立つように，指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。 c：累乗根の性質に興味を示し，具体的に証明しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

		第2節　対数関数 1　対数とその性質 2　対数関数 3　常用対数	a: 対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。 b: 指数法則から，対数の性質を考察することができる。 c: やや複雑な対数方程式，対数不等式に積極的に取り組もうとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
	第3章　図形と方程式	第2節　円 1　円と方程式 2　円と直線 3　2つの円	a: 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 b: 円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで，円と直線の位置関係を考察することができる。 c: 円と直線の位置関係を，2 次方程式の判別式や，円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物
		第3節　軌跡と領域 1　軌跡と方程式 2　不等式の表す領域	a: 点が満たす条件から得られた方程式を，図形として考察することができる。 b: 軌跡を求めるには，逆についても調べる必要があることを理解している。 c: 点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。	定期考査 小テスト 観察等 提出物 ノート	定期考査 課題 ノート	課題 観察等 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度